2022 年度　第 10 期生
～現地に行って、武将の夢を実感～

○5月20日（金） 第2回城探訪　芥川山城跡　　**2班　津田　彰**

芥川山城は飯盛山城と共に大阪府下では最も規模が大きな城跡で、遺構の残存状態も良好で戦国時代の典型的な山城で、標高 182.6m の三好山に築城されていました。

・9時50分　JR 高槻駅集合　　バスに乗り約15分で塚脇停留所に到着

・停留所にて、ガイドさんの紹介のあと、城跡に向かい歩き始めました。

舗装道路をしばらく歩いた後、土道の塚脇ルートに入りました

、

頂上に近づくにつれ、城の痕跡が見えるようになり、「曲輪」「櫓」や「堀切」「土橋」の跡を見ることができました

やっと頂上に上がると、下に高槻の町の眺望が開けます。晴れていればハルカスが見えるそうですが、あいにくの曇り空で残念ながら見ることはできませんでした。

頂上の一段高い所には城の主郭の建物があったそうで、発掘調査も行われたそうです。

しばらく休憩して大手筋ルートを下る途中に大手門の石垣がありました。
石垣を見ると、やはり城に来たという実感が湧いてきます。

そこからの下り道は急な上に、石があったり、葉っぱで滑りやすかったり、少し水が流れていたりで、安全に気を付けながらの下りになり、参加者の疲れも大きかったようです。

12時過ぎに下山を終えて摂津峡公園で昼食、揃ってバスに乗って帰路につきました。

以上で第2回城探訪は終了です。